



「見たり、聞いたり、探ったり」No.231

通算 No.383

青 木 行 雄

時代をみつめて

天皇陛下即位の儀式

「令和」元号の幕開け(令和元年(2019) 5月1日)

「令和」幕開け、おめでとうございます。

天皇陛下(御名・徳仁＝なるひと)、5月1日午前0時、第126代天皇に即位された。同時刻に元号も改められ、新時代のスタートである。

天皇陛下は令和元年5月1日午前、皇居・宮殿で、皇位継承に伴う最初の儀式「剣璽等承継の儀」に臨み、皇位の証しとして伝わる剣や曲玉などを受け継がれた。続いて「即位後朝見の儀」には皇后さまや秋篠宮ご夫妻ら成年の皇族方計13人が参列、国民の代表として、安倍首相ら三権の長や大臣、都道府県知事、都道府県議会、市町村の代表らが参列した。

陛下は、憲法と典範特例法の定めるところにより、皇位継承したことを明らかにして、初のお言葉を述べられた。



※「令和」元号を発表する菅官房長官



※新天皇の「剣璽等承継の儀」の儀式



※新天皇の剣や曲玉などを受ける儀式



※「即位後朝見の儀」に参列する方々



※「即位後朝見の儀」に参列する方々のアップ



※「即位後朝見の儀」天皇・皇后両陛下



※「即位後朝見の儀」に参加される皇族の方々



※「即位後朝見の儀」でお言葉を述べる陛下



※「即位後朝見の儀」にて参列する皇族の方々

「天皇陛下、お言葉の全文」

「日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところにより、ここに皇位を継承しました。

この身に負った重責を思うと肅然たる思いがします。

顧みれば、上皇陛下には御即位より、30年以上の長きにわたり、世界の平和と国民の幸せを願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その強い御心^{みこころ}を御自身のお姿でお示しになりつつ、一つ一つのお務めに真摯に取り組んでこられました。上皇陛下がお示しになった象徴としてのお姿に心から敬意と感謝を申し上げます。

ここに、皇位を継承するに当たり、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、また、歴代の天皇のなさりようを心にしめ、自己の研鑽^{けんさん}に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓い、国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望します。」

そして、安倍首相が国民代表の辞で祝意を述べた。

首相「国民代表の辞」全文

「謹んで申し上げます。

天皇陛下におかれましては、本日、皇位を継承されました。国民を挙げて心からお慶(よろこ)び申し上げます。

ここに、英邁(えいまい)なる天皇陛下から、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、日本国憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たされとともに、国民の幸

せと国の一層の発展、世界の平和を切に希望するとのおことばを賜りました。私たちは、天皇陛下を国及び国民統合の象徴と仰ぎ、激動する国際情勢の中で、平和で、希望に満ちあふれ、誇りある日本の輝かしい未来、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ時代を、創り上げていく決意であります。

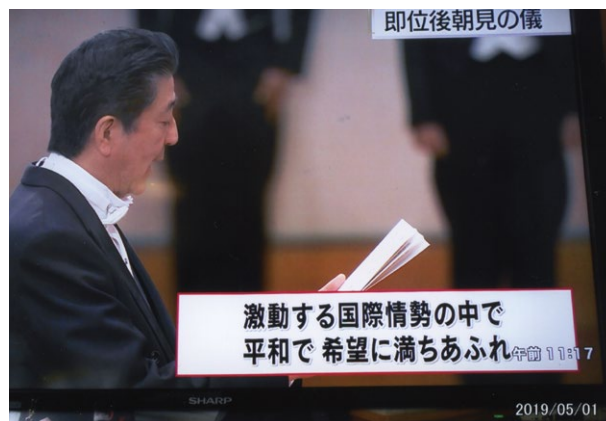
ここに、令和の御代(みよ)の平安と皇室の弥栄(いやさか)をお祈り申し上げます。」

以上のように安倍首相は祝意を述べた。

天皇陛下の経歴を記して見る。

1960年(昭和35年)2月23日に上皇ご夫妻の長男として誕生する。明治以降で初めて親元で育てられた天皇で、乳人^{めのと}ではなく、上皇后さまの母乳で育てられた。学習院初等科、中等科、高等科を経て1982年(昭和57年)に学習院大文学部を卒業された。翌年から2年間、英オックスフォード大に留学する。帰国後の88年、学習院大大学院博士前期課程を修了された。

即位までに天皇の国事行為の臨時代行を計24回経験された。全国育樹祭、高校総合体育大会、国民文化祭など多くの地方行事にも出席されてきた。海外留学を経験した初の天皇で、既に48ヵ国を訪問されている。学生時代から水運などの交通史の研究を続け、2007年から約8年間、国連「水と衛生に関する諮問委員会」名誉総裁を務められた。



※「即位後朝見の儀」でお言葉を述べる安倍首相

皇后さまの経歴について

1963年(昭和38年)12月9日、小和田恒、優美子夫妻の長女として誕生した。田園調布雙葉小学校、同中学校、同高校、米ベルモントハイスクールを経て、1985年(昭和60年)に米ハーバード大経済学部を卒業された。東大に学士入学した後、1987年(昭和62年)に外務省に入省し、1988年(昭和63年)から2年間、英オックスフォード大に留学。1993年(平成5年)6月9日に天皇陛下と結婚された。皇室史上2人目の民間出身の皇太子妃になり、2001年(平成13年)12月1日、長女愛子さまを出産された。2004年(平成16年)に適応障害と診断されたが、徐々に回復し、活動の幅を広げられている。陛下の東日本大震災被災地訪問に全て同行したほか、2013年(平成25年)には10年ぶりの外国公式訪問でオランダへ行かれ、昨年の秋の園遊会で15年ぶりに全行程を歩かれた。

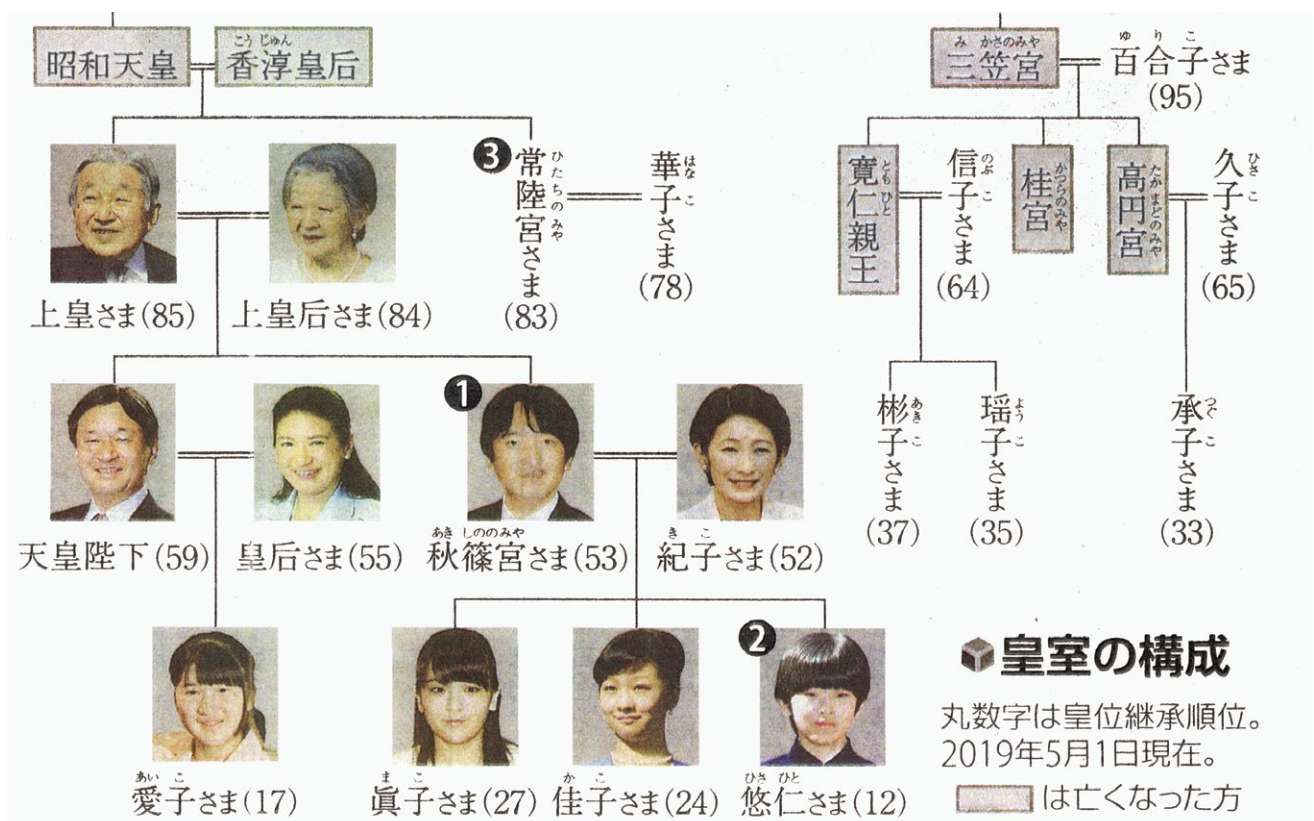
以上が「天皇陛下・皇后さま」の簡単な経歴である。

皇室の構成について

(丸数字は皇位継承順位である)

2019年(令和元年5月1日現在。)

□は亡くなった方々。



天皇陛下に 3 勲章

- ① 最高位の勲章 「大勲位菊花章」
- ② 〃 「桐花大綬章」
- ③ 〃 「文化勲章」

いずれも今回新調されたようである。

日本の元号一覧表

飛鳥時代、645年元号「大化」より、126代「令和」2019年までの一覧表である。

「和」の付く年代は、708年(和銅)、885年(仁和)、961年(応和)、985年(寛和)、1012年(長和)、1099年(康和)、1181年(養和)、1312年(正和)、1352年(文和)、1375年(永和)、1615年(元和)、1681年(天和)、1764年(明和)、1801年(享和)、1926年(昭和)、2019年(令和)

以上16回になった。

もちろん「令」の字は「令和」の1回しかない。



●日本の元号一覧

飛鳥時代

大化	645
白雉	650
朱鳥	686
大宝	701
慶雲	704
和銅	708

正暦	990
長徳	995
寛弘	1004
長和	1012
寛仁	1017
治安	1021
万寿	1024

安元	1175
治承	1177
養和	1181
寿永	1182
元暦	1184
文治	1185

正中	1324
嘉暦	1326
元徳	1329
〔〕は北朝	
元弘	1331
〔正慶〕	1332
建武	1334
延元	1336

享祿	1528
天文	1532
弘治	1555
永祿	1558
元龜	1570
天正	1573
文祿	1592
慶長	1596

奈良時代

宣統	715
養老	717
神亀	724
天平	729
天平勝宝	749
天平宝字	757
天平神護	765
神護景雲	767
宝龜	770
天応	781
延暦	782

長元	1028
長暦	1037
長久	1040
寛徳	1044
永承	1046
天喜	1053
康平	1058
治暦	1065
延久	1069
承平	1077
永保	1081
応徳	1084
寛治	1087

建久	1190
正治	1199
建仁	1201
元久	1204
建永	1206
承元	1207
建暦	1211
建保	1213
承久	1219
貞応	1222
元仁	1224
嘉禄	1225
安貞	1227
寛永	1229
貞永	1232

室町・安土・桃山時代	
〔暦応〕 1338	
興国 1340	
〔康永〕 1342	
〔貞和〕 1345	
正平 1346	
〔觀応〕 1350	
〔文和〕 1352	
〔延文〕 1356	
〔康安〕 1361	
〔貞治〕 1362	
〔応安〕 1368	
建徳 1370	
文中 1372	
天授 1375	

江戸時代	
元和	1615
寛永	1624
正保	1644
慶安	1648
承応	1652
明暦	1655
万治	1658
寛文	1661
延宝	1673
天和	1681
貞享	1684
元禄	1688
宝永	1704
正徳	1711

平安時代

大同	806
弘仁	810
長和	824
承和	834
嘉祥	848
仁寿	851
斉衡	854
天安	857
貞観	859
元徳	877
仁和	885
寛平	889
昌泰	898
延喜	901
延長	923
承平	931
天慶	938
天曆	947
天徳	957
応和	961
康保	964
安和	968
天禄	970
天延	973
貞元	976
天元	978
永観	983
寛和	985
永延	987
永祿	989

嘉保	1094
永長	1096
承徳	1097
康和	1099
長治	1104
嘉承	1106
天仁	1108
天永	1110
永久	1113
元永	1118
保安	1120
天治	1124
大治	1126
天承	1131
長承	1132
保延	1135
永治	1141
康治	1142
天養	1144
久安	1145
仁平	1151
久寿	1154
保元	1156
平治	1159
永暦	1160
応保	1161
長寛	1163
永万	1165
仁安	1166
嘉応	1169
承安	1171

天福	1233
文暦	1234
嘉禄	1235
暦仁	1238
延応	1239
仁治	1240
寛元	1243
宝治	1247
建長	1249
康元	1256
正嘉	1257
正元	1259
文応	1260
弘長	1261
文永	1264
建治	1275
弘安	1278
正応	1288
永仁	1293
正安	1299
乾元	1302
嘉元	1303
徳治	1306
延慶	1308
応長	1311
正和	1312
文保	1317
元応	1319
元亨	1321

文中	1370
天授	1372
天授	1375
〔永和〕	1375
〔康暦〕	1379
弘和	1381
〔永徳〕	1381
元中	1384
〔至徳〕	1384
〔嘉慶〕	1387
〔康応〕	1389
〔明德〕	1390
応永	1394
正長	1428
永享	1429
嘉吉	1441
文安	1444
宝徳	1449
享徳	1452
康正	1455
長禄	1457
寛正	1460
文正	1466
応仁	1467
文明	1469
長享	1487
延徳	1489
明応	1492
文龜	1501
元龜	1504
永正	1521
大永	1521

享保	1716
元文	1736
寛保	1741
延享	1744
寛延	1748
宝暦	1751
天明	1764
安永	1772
天明	1781
寛政	1789
享和	1801
文化	1804
文政	1818
天保	1830
弘化	1844
嘉永	1848
安政	1854
万延	1860
文久	1861
元治	1864
慶応	1865

近代・現代

明治	1868
大正	1912
昭和	1926
平成	1989
令和	2019

新緑がまぶしい季節になり、新しい「令和」の時代が動き出した。新天皇陛下が即位され心から祝意を贈りたいと思う。

皇居宮殿「松の間」において「剣璽等承継の儀」に続き、「即位後朝見の儀」が行われた。

朝見の儀では前記の通り、陛下は「常に国民を思い国民に寄り添いながら、憲法にのっとり象徴として責務を果たす」と述べられた。

また安倍首相も「天皇陛下を国及び国民統合の象徴と仰ぎ、激動する国際情勢の中で、平和で誇りある日本の未来を創り上げていく決意である」と述べられた。

新元号「令和」と共に新天皇をささえ、新しい日本の新しい時代の幕開けになるよう期待したいものである。

引用資料

読売新聞

NHK テレビ

令和元年 5 月 5 日記



天皇陛下の即位を祝う一般参賀 令和元年5月4日

出典：東京新聞

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/feature/photo-square/201905/CK2019050402100032.html>